

仲間への“思いやりのこころ”

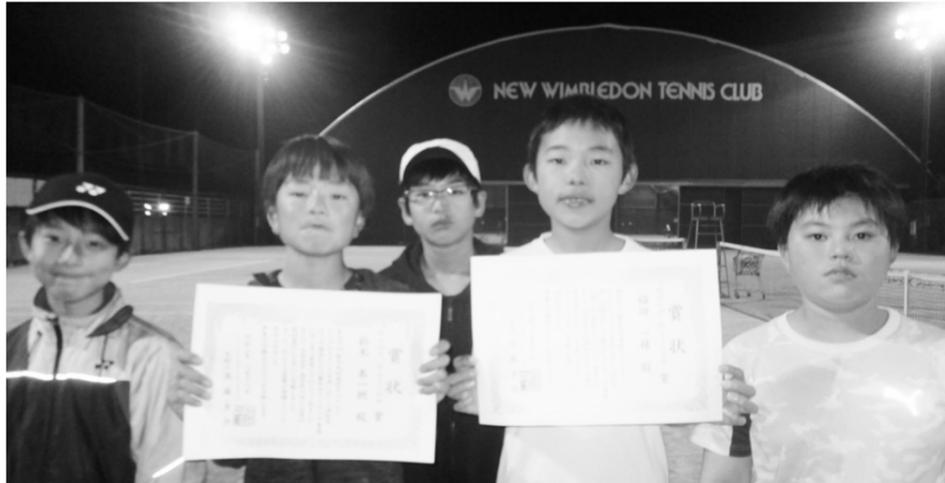
グッドフェロー賞

「Good fellow」＝「良い仲間」(直訳)＝スポーツマンシップ

受賞

S・Sくん K・Fくん

～ Jr.チーム生(新中学1年生) ～



▲S・Sくん ▲K・Fくん

浜松市テニス協会が主催するジュニア大会のひとつに『遠州チャイルドシングルス大会』という大会があります。

この大会は、大会に出始めた小さな子(小学1年生以下の部、小学2年生の部、小学3年生の部)がチャレンジする大会で、春と秋の年2回開催されています。

出場する子ども達は年齢が低いため、シングルの試合をその子たちだけで行うのがまだ難しく、浜松市内のJr.選手活動を行っているテニスクラブから数名ずつ「審判ボランティア」を送り出し、その上級生たちが審判を行うことで大会が成り立っています。

2021年3月の「遠州チャイルドシングルス大会」でも、当クラブへ2名の審判ボランティアの要請がありました。

この要請が入ると、当クラブではクラブハウス内「Jr.選手コース用ホワイトボード」にて子ども達に呼びかけることで審判募集を行っています。

今回も、ホワイトボードにて「審判ボランティア募集」を行ったところ、早くもその日の練習ははじめに、S・SくんとK・Fくんの2人がそろってこう話してくれました。

「コーチ、あの『審判ボランティア』って、何ですか？」 「僕たち、やりますよ。」

コーチや保護者から勧められたのではなく、自分たちで話し合い、自発的に手を挙げてくれました。

審判ボランティアたちは、朝8時30分集合。(花川運動公園テニスコート)

1時間ごとの交代制で、小さな子のシングルの審判をします。

時に、チェンジコートの指示や、サーブの位置なども教えながら、夕方5時ごろまでかかります。

大会の審判ボランティアを無事やり終えた二人は、後日、

「疲れたけど、がんばりました。」

と、話してくれました。 本当に、お疲れ様でした。

小さな子たちの助けになる活動を、二人が自主的に行ってくれたことを誇りに思います。

お二人には、クラブより『グッドフェロー賞』を贈りました。

保護者のみなさまへ

ニューウインブルドンテニスクラブ「Jr.選手育成コース」(通称:Jr.チーム)では、「スポーツマンシップの体得」に力を入れています。成長過程にある子ども達の「芯の強さ」や「優しさ」といった【心】を大切に育む活動をしています。特に、今の時代だからこそ、テニスレベルや男・女、年齢を超えた、様々な形の結びつきを子ども達に持たせることで、「多様性」、「主体性」、「自己主張」や「思いやりの心」などが健全に育つと考えています。

そうした中で、今回のS・S君とK・F君の意志・行動は、本当に素晴らしいと思いました。

Jr.チーム担当 後藤